

平成20年度 予算総額

237億3,625万円

一般会計は136億9,500万円

会 計 名	20 年度予算額	19 年度予算額	伸び率 (%)
一 般 会 計	136 億 9,500 万円	138 億 2,000 万円	△ 0.9
特 別 会 計	85 億 5,590 万円	113 億 700 万円	△ 24.3
老人保健事業特別会計	3 億 3,760 万円	35 億 6,510 万円	△ 90.5
後期高齢者医療事業特別会計	3 億 9,990 万円	—	皆増
国民健康保険事業特別会計	33 億 1,600 万円	34 億 3,100 万円	△ 3.4
介護保険事業特別会計	24 億 5,510 万円	23 億 5,950 万円	4.1
介護サービス事業特別会計	2,630 万円	2,830 万円	△ 7.1
農業集落排水事業特別会計	1 億 3,630 万円	1 億 4,270 万円	△ 4.5
駐車場事業特別会計	4,440 万円	3,550 万円	25.1
瑞浪中央土地区画整理事業特別会計	1 億 3,390 万円	2 億 3,150 万円	△ 42.2
下水道事業特別会計	16 億 9,070 万円	14 億 9,780 万円	12.9
簡易水道事業特別会計	1,570 万円	1,560 万円	0.6
水道事業会計	14 億 8,535 万円	18 億 6,992 万円	△ 20.6
予 算 総 額	237 億 3,625 万円	269 億 9,692 万円	△ 12.1

市民が主役の「みずなみ」を

平成20年度の当初予算が2月25日から

開かれた第2回市議会定例会で可決されました。

平成20年度の本市の予算額は、総額で237億3625万円、前年度比12.1%の減となりました。

このうち一般会計は、地域交流センター「ときわ」の完成などにより、普通建設事業費が減少したことで、前年度比0.9%の減となりました。

また、特別会計と水道事業会計の合計は、前年度比23.8%と大幅に減少しました。この主な要因は「後期高齢者医療制度」の創設に伴い、市では保険料の徴収にかかる事務のみを行うこととなり、給付にかかる事務は広域連合で行われるため、老人保健事業が大幅に減額となるためです。

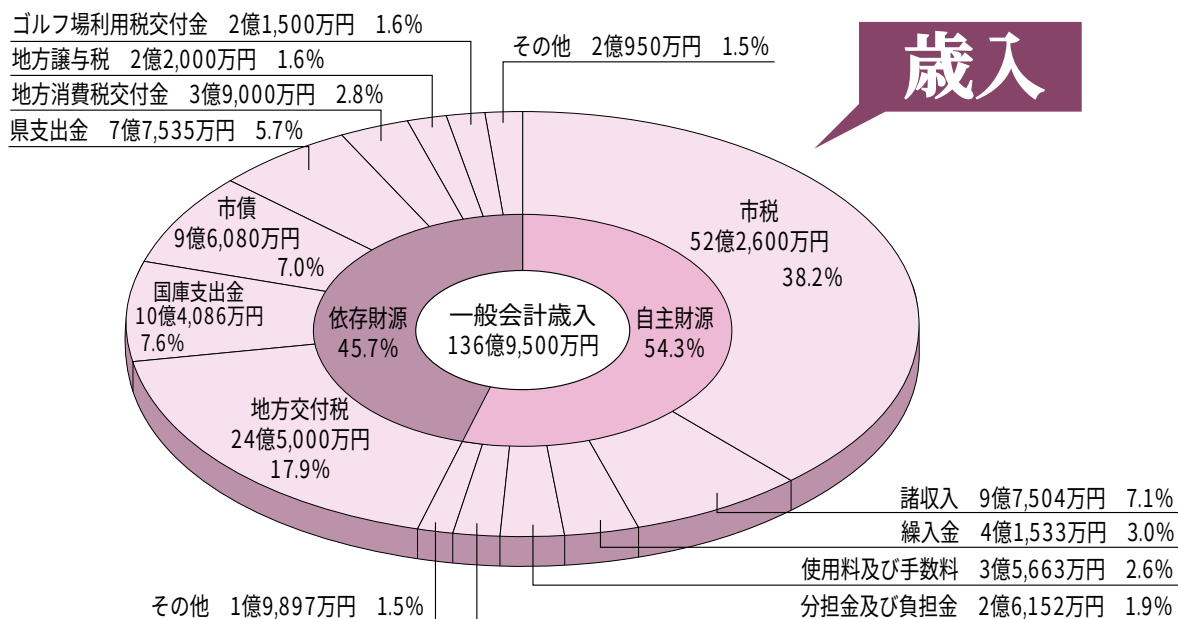
一般会計の歳入については、法人市民税の増加や家屋、償却資産の増による固定資産税の増加などにより、52億2600万円（前年度比2.7%増）と見込みました。市債の発行は引き続き抑制に努めました。不足する財源は基金からの繰入金で対応するなど、依然として厳しい財政状況にあります。

歳出については、福祉医療費助成の充実や次世代育成支援事業などの子育て支援、夢づくり地域交付金などによる地域コミュニティ活動の支援、道路整備事業や水道未給水地域解消事業の継続など、市民にとって安全でやさしいまちづくり、活力ある快適なまちづくりに資する事業に重点的に予算を配分しました。

地方財政の将来像が依然として不透明な中、今後もありいっそうの合理化と経費の削減に取り組み、安定した自治体経営に努めます。

一般会計の状況

歳入



依存財源「その他」の内訳

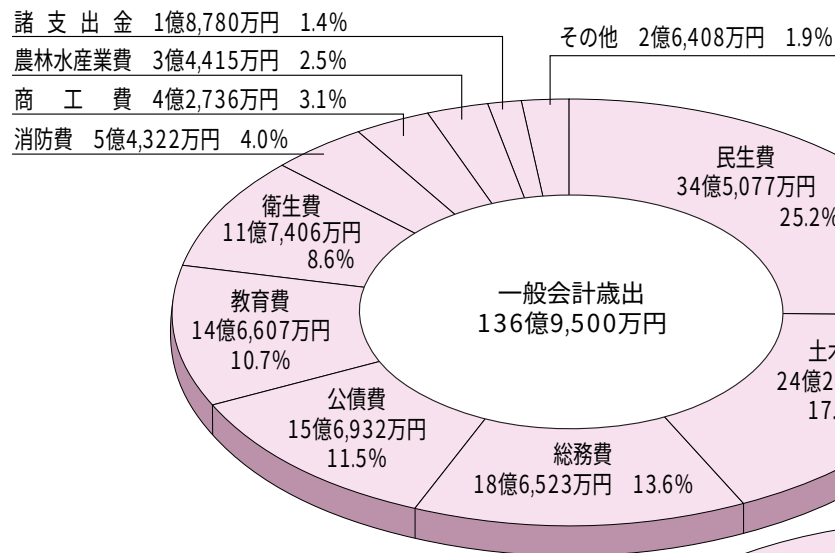
自動車取得税交付金	1億500万円
地方特例交付金	4,500万円
株式等譲渡所得割交付金	1,300万円
利子割交付金	2,200万円
配当割交付金	1,700万円
交通安全対策特別交付金	750万円
合計	2億950万円

自主財源「その他」の内訳

繰越金	1億円
財産収入	9,460万円
寄附金	437万円
合計	1億9,897万円

歳出

歳出 (目的別)



目的別「その他」の内訳

議会費	1億7,932万円
労働費	6,476万円
予備費	2,000万円
合計	2億6,408万円

歳出 (性質別)

